

平成26年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

2 四国旅日記を読む(一)

―柳井市金屋小田家文書「四国巡拝道中記」―

四國順拜道中記

光
宛

柳井津小田
898
(/)

四國靈場道中附

文政八歲 壬午の夏二月七日
高津止地 船次別所 舟中
長良川の神の家を過る
八日 飯沼正良の舟中
言ふ 廣島に四國の奴船を
舟中 舟中 舟中
舟中 舟中 舟中

覺

一 舟中 舟中 舟中

左妻舟所 舟中 舟中 舟中

舟中

舟中

以末の山もきー二の町
中山丁の山門の山丁寺

第五十三番

△大山寺

廿次 十八丁

本尊土面觀音

第五十三番
系御堂の大地の上の堂系

東の地元の双きの果を

山崎の山崎の井の

東の地元の山崎の

山崎の山崎の

第五十三番

△圓明寺

廿次 九里八丁

本尊阿彌陀如來

平地の山崎の山崎の

山崎の山崎の山崎の

平林一平武 ○一九日

此向村を由り河原坂大谷

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

河原村。小津町西

送前ノ下ノ村ハ此ノ村ニ有キ
五ノ里ノ村ニ有キ。或ハ沖
ノ明神ト云フカハ一ノ里
ノ明神ト云フカハ一ノ里
ノ明神ト云フカハ一ノ里
ノ明神ト云フカハ一ノ里
ノ明神ト云フカハ一ノ里
ノ明神ト云フカハ一ノ里
ノ明神ト云フカハ一ノ里
ノ明神ト云フカハ一ノ里
ノ明神ト云フカハ一ノ里

延命寺 廿四里
廿四里

本尊 不動明王

かこ

東山道加切一河

△別宮 壹里貳丁

本尊大通智勝佛

三尊大明神也

辨機也 一里壹町貳拾新丁

三傳七里内取海一里

切敷六三傳自長年一里中

今日雨天三傳成今日治海

城下町及其以可也

一里日老村馬村北也

△恭山寺 拾八丁

本尊地藏菩薩

東山道加切一河

大霧... 平四亭行... 高... 弟... 送... 以...
口十日天氣

△石清林... 寺

本尊阿彌陀如來

有... 方... 提多...
百...
入法...
寺

△佐禮山

壹里

本尊十年觀音

南心東寺大方廣佛一母其有之

瓦葺厨心一人其百某年

咸上持事一是等願其業之有

まのゆい心此及下家下の上向

道阿の左心一其下子其の村

中一也小鷹上之神是此行

寺禪寺小寺有旧立丁行相出可

千川有國介村

△國介寺

六里

本尊其宗師如來

道心其心一其心一其心一

此五命村合六丁以概井村
以如不。明神社何。又須
概井村通打。在。也。也。
け村。通。下。以。行。法。華。寺
の。道。成。心。道。下。方。一。寺。行。心
の。乃。為。村。向。高。日。光。公。新。丁。向
第。七。寺。武。文。市。神。十。多。人。好。也。人
十。武。文。市。神。十。多。人。好。也。人
高。日。光。公。梅。下。方。一。寺。行。心

○十二日如之大于。有。史。上。个
冲。集。向。如。印。井。村。水。何。也。
し。不。家。松。法。心。之。楠。村。也。下
新。町。向。方。一。寺。行。心。也。也。

美在坊上云已て丹原町

付所もあつて是所をまゝに

仍令生木地藏尊業諸

業堂ありてあゝ新田村に

大戸所付所高球堂為

御堂横峯山西下地

未高付所久也未也高

道結の近き所也歌の

史感の未高付所也

今下江寺行前相可也

難而中川

△横峯山 貳里

本尊大日如來

當心真院 石鏡山 三千里
 有之三月一日 山ノクノト
 本社藏王權現 檀越子
 曹子 在卷ノノ 一葉を
 有之 亦不面丁 席ノ
 方野村中 湯を 甚危
 弟七子 史文 中 誠 又 不
 凡 是 行 〇 十三日 如 之 付 形
 廿五丁 以

△ 香園寺 三丁

本尊 大日 如来

△ 一之宮 三千里

本尊 十一面 觀音

山形柳城下町ラ道下一丁にて
中衛地^送廻行所、寺の自書
志書也、本教中、道下所

△吉祥寺 半里

本尊 毘沙門天王

高古平比河川、名公、河川
寺に招き参りし

△里前神寺 拾里

本尊 阿弥陀如来

尚寺立丁の寺、席りし、寺の
石鉄山の系、丸屋守、真の院に
在り、弟の寺、寺し、寺、寺、
し、水、河、寺、寺、寺、寺、
高、寺、自由、寺、寺、寺、寺、

御着請 諸請 成龍 吾又
天火を 焼く 今借御殿
下り 舟 經 可 舟 成 間 栢 碇 碇
美 あり あり あり あり あり あり
雨 降 出 じ し ま 不 方 川 河 不
義 海 一 方 可 あり あり
町 あり あり 西 條 高 成 あり
此 子 の 廻 子 故 以 じ あり あり
は あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり あり

○ 西の端に天守 成 方井村

は あり あり あり あり あり あり
有 あり あり あり あり あり あり

寺の名称 慈光寺 名は 泉南 山 師範 寺

○十日 日 式 丁 寺

△ 三角 寺 五里

本尊十一面観音

苏化山と名を 兼 堂 所 の 寺 也

真院 只 是 八 丁 之 寺 也

如 寺 左 子 之 寺 也 山 寺 也

法 行 行 佛 也 寺 下 位 行

寺 所 之 寺 也 行 佛 也 寺 也

寺 所 之 寺 也 行 佛 也 寺 也

寺 所 之 寺 也 行 佛 也 寺 也

寺 所 之 寺 也 行 佛 也 寺 也

寺 所 之 寺 也 行 佛 也 寺 也

寺 所 之 寺 也 行 佛 也 寺 也

奇雲類(通夜)多し
 無牙(解)令(令)江(江)時(時)を
 通夜(通夜)の(通夜)人(人)の(通夜)今(今)の(通夜)口(口)に
 槃(槃)且(且)千(千)未(未)清(清) (通夜) (通夜) (通夜)
 通夜(通夜)法(法)不(不)成(成)の(通夜)夜(夜)又(又)多(多)の(通夜)口(口)に
 大(大)所(所)は(は)方(方)の(通夜) (通夜) (通夜) (通夜)
 右(右)と(と)り(り)の(通夜)友(友)会(会)最(最)百(百)年(年)銅
 三(三)人(人)百(百)年(年)の(通夜) (通夜) (通夜) (通夜)
 の(通夜)友(友)の(通夜) (通夜) (通夜) (通夜)
 志(志)多(多)江(江)の(通夜) (通夜) (通夜) (通夜)
 (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜)
 (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜)
 (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜)
 (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜) (通夜)

手廻りある奥の院は是道
此院に集るは河くはまの
村にまかりす今りまじい
を
故に村の治事
角路集るは又
為とす
近
の
十
の
近
の
又
の

此の運道美し
古の歌一巻一巻人の心
平家物語の事と申すは
朝野群載の事と申すは
清和物語の事と申すは
権持法親王の事と申すは
王存の事と申すは
平家物語の事と申すは
何れも物語の事と申すは
平家物語の事と申すは
平家物語の事と申すは
平家物語の事と申すは
平家物語の事と申すは
平家物語の事と申すは
平家物語の事と申すは